

2008年度  
JOC ジュニアオリンピックカップ兼 JSAF ジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ  
全日本OP級ヨットオープン選手権  
U-12セーリングチャンピオンシップ  
財団法人地域活性化センター「スポーツ拠点づくり推進事業」

帆走指示書 (Sailing Instructions)

この帆走指示書では以下の略称を使用する

- ・ RC :レース委員会
- ・ RRS :セーリング競技規則 2005-2008年版
- ・ NOR :レース公示
- ・ SI :帆走指示書

1.適用規則

- 1.1 本大会は、RRSに定義された「規則」を適用する。但し、このSIで変更された部分を除く。
- 1.2 NORとSIが矛盾する場合はSIを優先する。

2.参加登録

NOR により参加申込みをした競技者は、次の時間内にレースオフィスにおいて参加登録(大会受付)を完了することにより、レースに参加することができる。

参加登録(大会受付)時間 7月25日(金)13:00~17:00、7月26日(土)08:00~09:00

3.選手への通告

選手への通告は和歌山セーリングセンター クラブハウス玄関に設置する公式掲示板に掲示される。

4.帆走指示書への変更

SIの変更は、それが発効する当日の8:00までに掲示する。但し、レース日程の変更については発効する前日の18:00までに掲示する。

5.陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は和歌山セーリングセンター クラブハウス前に設置されたフラッグポールに掲揚される。
- 5.2 音響1声と共に掲揚される『D』旗は「選手はレース・エリアに向かいなさい。最初の予告信号は『D』旗掲揚の30分以降に発せられる。」ことを意味する。「艇は、この信号が発せられるまでハーバーを離れないことを求められる」を意味する。
- 5.3 『D』旗が掲揚されない場合には、その日のレース又は次のレースのスタート時刻は延期されていることを意味する。

6.海上で発せられる信号

スターティング・ライン又はフィニッシング・ラインに位置するRC艇、またはその他のRC艇に『N/H』旗、『N/A』旗、『AP/H』旗、『AP/A』旗が掲揚された時は、RRS信号に定められたそれぞれの意味に加え、「全艇直ちに帰港し、帰着申告をしなさい」を含むものとする。

7.レースの日程

- 7.1 7月25日(金)  
13:00~17:00 大会受付、大会計測
- 7月26日(土)  
08:00~09:00 大会受付、大会計測  
09:15 開会式・艇長会議  
10:25 最初のクラスの 1日目第1レースの予告信号  
引き続きレースを行う。

7月27日(日)

09:25 最初のクラスの 2日目最初のレースの予告信号  
引き続きレースを行う。

16:00 閉会式、表彰式

7.2 本大会は 7レースを予定する。

7.3 1日に行われるレースは 5レースを超えることはない。

7.4 最終日のレースの予告信号は 14:00以降に発せられることはない。

#### 8.クラス旗

OP級Aクラス 『OP級クラス』旗

OP級Bクラス 『G』旗

レーザー4.7クラス 『レーザークラス』旗

#### 9.レース・エリア

添付1図に、レース・エリアの位置を示す。

#### 10.コース

10.1 添付2図に、レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序およびそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

10.2 予告信号以前に、スターティング・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

#### 11.マーク

11.1 マーク 1、2および3はオレンジ色三角錐形ブイとする。

11.2 スターティング・マークはスターティング・ラインの両端のRC艇とする。

11.3 **OP級Aクラス及びレーザー4.7クラスのフィニッシング・マークはスターボード・エンドのRC艇とポート・エンドのオレンジ色球形のブイとする。**

11.4 **OP級Bクラスのフィニッシング・マークはポート・エンドにいるRC艇とスターボード・エンドの第2マークブイとする。**

#### 12.スタート

12.1 スターティング・ラインは、スターティング・マーク(両端のRC艇)上で『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストのコースの側の間とする。

12.2 スタート信号から4分を経過した後にスタートしようとする艇はスタートしなかった艇(DNS)として記録される。これはRRS A4を変更している。

12.3 RRS30.3(黒色旗規則)が適用されたレースのスタート後、ゼネラルリコール信号が発せられた場合またはレースが中止となった場合には、規則に違反した艇のセールナンバーをスターティング・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇に掲示する。

#### 13.スタート後のコース変更

レース中に、マークの位置を変更することはない。

#### 14.フィニッシュ

14.1 **OP級Aクラス及びレーザー4.7クラスのフィニッシング・ラインは、スターボード・エンドのクラス旗及び『青色』旗を掲揚しているRC艇の『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストとポート・エンドのオレンジ色球形ブイのコースの側の間とする。**

14.2 **OP級Bクラスのフィニッシング・ラインは、ポート・エンドにあるクラス旗と『青色』旗を掲揚しているRC艇の『オレンジ』旗を掲揚しているポールまたはマストと、スターボード・エンドのフィニッシング・マーク(第2マークブイ)のコースの側の間とする。**

#### 15.ペナルティー方式

15.1 RRS付則Pを適用する。

15.2 RRS31.2 または 44.1 に基づきペナルティーを履行した艇またはリタイアした艇は、抗議締切時間内にレ

ースオフィスにおいて報告書に記入しなければならない。

- 15.3 RRS42の違反(付則P)以外の違反については ジュリーはレースを監視する。ジュリーが違反を目撃した場合にはジュリーは音響信号1声を発する。但し、セール番号の呼びかけはしない。これは「ジュリーが1艇または2艇以上の規則違反を目撃した。」ことを意味する。

#### 16.タイムリミット

先頭艇がコースを帆走してフィニッシュ後15分以内にフィニッシュしない艇は「フィニッシュしなかった」(DNF)と記録される。これはRRS35 および A4 を変更している。

#### 17.抗議および救済の要求

- 17.1 OP級の艇が海上において抗議する場合には、赤色旗の掲揚を必要とし、レース中は目立つように赤色旗を掲揚しなければならない。またフィニッシュ後、直ちに抗議の意志と被抗議艇のセール番号をRCが確認するまで口頭で伝えねばならない。これはRRS61.1(a)を変更している。
- 17.2 RCまたはプロテスト委員会による抗議の公示をRRS61.1(b)に基づき伝えるため掲示する。但しその文にある【レース後、規則 61.3 の抗議締切時間内に、その艇に伝えなければならない。】を【レース後、規則 61.3 の抗議締切時間内に、公式掲示板に掲示しなければならない。】に変更する。これはRRS 61.1(b)を変更している。
- 17.3 抗議書はレースオフィスで入手できる。抗議締切時間までにレースオフィスに提出されなければならない。
- 17.4 抗議締切時間は、その日の最終レース終了から60分後とし、その時刻は公式掲示板に掲示される。
- 17.5 審問の当事者および証言者の氏名と審問開始時刻は、抗議締切時間から30分以内に公式掲示板に掲示する。
- 17.6 SII5.1 により、RRS42 の違反を認めた艇またはプロテスト委員会により失格とされた艇は、抗議締切時間までに公式掲示板に掲示される。
- 17.7 大会最終日における審問再開要求の締切時間は：
- (a) 再開を要求する当事者が最終日の前日に判決を知らされていた場合には最終日の抗議締切時間とする。
- (b) 再開を要求する当事者が最終日に判決を知らされた場合には、その判決から30分後の時間とする。これはRRS66 を変更している。
- 17.8 SII15、19、23 および 25 の違反は選手による抗議の理由にはならない。これはRRS60.1(a)を変更している。これらの違反に対してはプロテスト委員会が失格より軽いペナルティーを課することができる。

#### 18.得点方式

- 18.1 本大会は1レースの完了をもって成立とする。
- 18.2 得点の除外
- (a) 成立したレースが4レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。
- (b) 成立したレースが5レース以上の場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。
- 18.3 SII9 の違反によりペナルティーを受けた艇の得点はDNFの得点より悪くなることはない。
- 18.4 SII9.5 および 6 に規定されたペナルティーの略語は、PFP (Penalty of Five Points )とする。

#### 19.安全規定

- 19.1 レースをリタイアする選手は、その旨をRCに速やかに報告しなければならない。
- 19.2 海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これはRRS40 を変更している。
- 19.3 選手は笛を救命胴衣にランヤードで確実に取り付けて置かねばならない。
- 19.4 OP級にはブレードの面積が 0.025 m<sup>2</sup>以上のパドルをランヤード又は弾性コードで確実に取り付けて置かねばならない。
- 19.5 SII9.2~19.4 の規定およびクラス規則 3.3.4、4.2(a)・(b)、4.3(a)・(b)に違反した場合には選手の得点は、違反が認められたレースについて、ペナルティーとして5点加算される。
- 19.6 選手は、出艇前、及び帰着後その日の最終レース終了から60分以内に、レースオフィス前に設置される申告用紙に出艇または帰着のサインをしなければならない。この規定に違反した場合には、違反した日の全レースの得点について、ペナルティーとして5点加算される。

- 19.7 救助を必要とする選手は、笛を吹き、パドルまたは片腕を振って、知らせなければならない。RCは、救助を要すると判断した場合には、救助を必要とする選手の意向にかかわらず、救助することができる。これはRRS62.1(a)による救済の根拠にならない。

## 20. 装備品の交換

- 20.1 損傷または紛失した装備品の交換はRCの書面による承認がなければ許可されない。交換の要請は最初の適切な機会にRCに行わなければならない。
- 20.2 損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のRCによって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にRCによる検査を受けた後、書面による承認を得なければならない。

## 21. 計測および装備品の検査

- 21.1 艇または装備品は、クラス規則とSIにより、いつでも検査することがある。
- 21.2 OP級Aクラスは大会計測を行う。なお、日本OP協会イヤーシリーズを適用する。

## 22. オフィシャル・ボート

オフィシャル・ボートには以下の旗を掲揚する。ただし、これらの旗の掲揚の誤りはRRS62.1(a)による救済の根拠にならない。

RC艇 : 『RC』旗、プロテスト委員会艇 : 『JURY』旗、レスキューボート : 『RESCUE』旗

## 23. サポート・ボート

- 23.1 サポート・ボートは海上では常時RCが支給する『緑色』旗を掲揚していなければならない。
- 23.2 サポート・ボートは次の条件を満たす場合にのみ使用が認められる。
- (a) 参加申し込み時に申請用紙にてRCに使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を2名以上、定員の1/2以下と制限する。
- (b) レースの準備信号から最終艇がフィニッシュするまでの間は、添付2図「コース」に示すスターティング・エリアおよびレース・エリアに入ってはならない。但し、レースの延期または中止あるいはゼネラルリコールの信号が発せられた場合には、次の準備信号までは上記エリアに入ることが認められる。
- (c) 全てのサポート・ボートに対する救助活動要請は、RC艇に『緑色』旗を掲揚して通告する。この要請があった場合、サポート・ボートは救助活動のために添付2図「コース」に示すスターティング・エリアおよびレース・エリアに入ることができる。但し、サポート・ボートは、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。
- 注. 援助はRRS41 と同義語とする。
- 23.3 サポート・ボートがSI23.1 またはSI23.2(a)~(c)に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、そのサポート・ボートに関係する全選手の当該レースを失格とするか、または、その他の措置が取られることがある。

## 24. 無線通信及び計器の使用の制限

- 24.1 艇は、レース中無線通信を行ってはならない。またすべての艇が利用できない無線通信を受信してはならない。この制限は携帯電話にも適用する。
- 24.2 艇のGPS及びデジタルコンパスの使用を禁止する。

## 25. ゴミの海上投棄

艇は、海にゴミを投棄してはいけない。ゴミは、サポート・ボートまたはRC艇に預けることができる。(JSAF環境キャンペーン)

## 26. 責任の所在

本大会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS4 参照。  
本大会の主催団体等は、本大会の前後および期間中に発生した人的事故(傷害・死亡等)ならびに物的事故(損傷・盗難等)について、その責任を一切負わないものとする。

以上

添付 1図「レース・エリア」



添付 2図「コース」

- コース (クラス旗) 国際OP級 Aクラス  スタート→①→②→③→④→フィニッシュ
- 国際OP級 Bクラス  スタート→①→②→③→フィニッシュ (②)
- レーザー 4. 7  スタート→①→②→③→②→③→④→フィニッシュ

角度はおおよそ。

サポートボートは救助時以外、各コースから150m以上離れること



